

つなぐ



＜設立状況(R5.4.1) 全41地区中＞	
まちづくり協議会	30(32地区)
まちづくり協議会準備会	0(0地区)

Vol. 48

発行：松山市役所 まちづくり推進課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-1821

H P：https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/tikudayori.html

Facebook：https://www.facebook.com/machijoho

Facebook まちづくり協議会情報局



桑原地区まちづくり協議会 フリーマーケット



3月12日(日)に桑原地区まちづくり協議会が、桑原中央通りで4年ぶりに「フリーマーケット」を開催しました。この日はお天気にも恵まれ、老若男女たくさんの方であふれかえっていました。

当日は、桑原まち協によるワッフルや女性防火クラブによるマドレーヌ、青壮年有志の会によるやきそばやフルーツなどの食品や手芸作品、余剰品、愛媛大学農学部による植物の販売がありました。また、まち協安全安心部によるマイタイムラインの作成や体育活動部の輪投げと的当て、包括支援センターによる健康相談などの体験できるブースもありました。

出店者には、愛媛大学農学部の学生有志で構成された桑原まち協の学生部もいて、スライム作りのブースを出店しました。スライム作りは今回初開催でしたが、大人気のコーナーで、子どもたちの大行列ができていました。学生さんは、スライム作りを通して、地域の方々と交流を深めていました。やわらかな日差しの中、来場者だけでなく出店者の方まで、たくさんの笑顔がこぼれていました。

各まちづくり協議会の取り組み

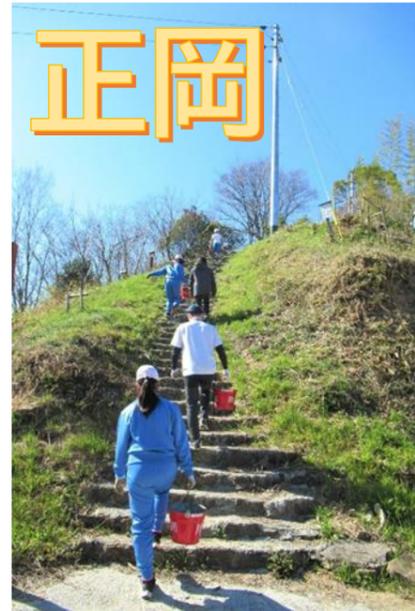


生石



生石地区まちづくり協議会は、垣生山の整備に取り組んでいます。その一環で、毎年2月には生石小学校6年生と卒業記念として桜の植樹を行っています。

頂上や登山道にあるソメイヨシノや陽光桜はもちろん、菜の花やスイセンなど多種多様な花木が植えられていて、登りながら豊かな自然を感じることができます。頂上からは、松山空港から離発着する飛行機や砥部町まで四方が見渡せる素晴らしい眺めです。



正岡



正岡地区まちづくり協議会は、八竹山の整備に取り組んでいます。正岡小学校の6年生の卒業記念として桜の植樹をしたり、桜の開花時期には、夜桜を楽しむためのライトアップを行っています。

八竹山頂上にはベンチがあり、鹿島まで見渡せる最高のロケーションです。夜は提灯の明りに照らされた桜と北条地域の夜景を楽しむことができます。



清水



清水地区まちづくり協議会は、大川沿いの桜並木に提灯をつけ、ライトアップを行っています。提灯の優しい明りに照らされた夜桜は、とても幻想的です。通行する人の中には、足を止めて写真を撮っている人も。

桜をゆっくり楽しんでいただけるよう、令和5年からはベンチを4台設置しました。

今年は、毎日18時～21時30分の間、4月8日(土)まで点灯を行っていますので、ぜひ足を運んでみてください。



潮見

潮見地区まちづくり協議会は、設立10周年を記念して、吉藤にある県道沿いの遊休地にソメイヨシノの苗木を25本植樹しました。かつて桜並木があった吉藤に「再び桜を！」という思いもあります。

今後、定期的に草刈りや水やりを行う組織を立ち上げ、管理をしてきます。地域の憩いの場となるよう、ヒマワリやコスモス、ヒガンバナなどを植えることも検討中。詳細は、潮見まち協 HP で発信していきます。



20周年を満開の桜とともに迎えるのが楽しみです！



味酒地区まちづくり協議会 みさけ野「紙芝居」鑑賞会 みさけ野「紙芝居」鑑賞会



3月5日（日）に味酒地区まちづくり協議会の教育文化部による紙芝居鑑賞会が行われました。「古町のおみこし物語」、「八幡様のえごまのあかり」、「衣山の今昔」の3部作がそろった鑑賞会は今回が初めてで、113名の参加者が地域の宝を描いた紙芝居を楽しみました。



人と人のつながりがまちを支えていることを実感しました。

題材の資料が残っていないものは、地域の方々への聞き取りなどの調査から始めました。

今後、音声を含む紙芝居の電子データをつくり、次の世代に受け継いでいきたいです。



紙芝居の演者の方が自ら描いたイラストで、温もりの伝わる鑑賞会になりました。



第48回 まちづくりで輝く人 地域で活躍している人を紹介します

桑原地区まちづくり協議会



学生部 畑 はた 木実さん このみ

自己紹介
大阪府出身の愛媛大学農学部1回生。愛媛の植物や生き物に興味があります。よろしくお願いします。

今回の表紙を飾った、桑原まち協の活動で尽力されている畑木実さんを紹介します。

【桑原地区の魅力をお伝えください】
桑原地区の魅力は、自然の豊かさだと思います。至る所に街路樹の緑があり、植物を育てているご家庭も多いため、毎日道を歩くのが楽しくなります。また、市内を一望できる淡路ヶ峠があり、誰でも気軽に登山をすることができるところも魅力だと思います。

【まち協でどのような活動に取り組まれていますか？】
毎月開催される役員会に学生部として参加したり、桑原地区のお祭りのお手伝いをしたりして、桑原地区の活性化に貢献するため活動しています。最近では、淡路ヶ峠登山に小学生のサポート係として同行しました。

【活動をしていて良かったこと】
人見知り、人と関わるのが苦手でしたが、まちづくり協議会で活動をしていくうちに、人と関わることの楽しさを学ぶことができました。また、普段できないような貴重な体験ができるので、自分の視野を広げられた点も良かったと感じています。

【今後の目標や抱負をお伝えください】
まちづくり協議会学生部を愛媛大学の正式のサークルとして復活させることです。今年度は学生部の人数も大幅に増え、コロナウィルスによる規制も緩和されてきました。そのため、学生部をサークルとして復活させることで、これまでより活動の幅を広げ、桑原地区をもっと盛り上げていきたいと思っています。